

平成27年 愛知県の全産業死亡災害一覧

確定版

愛知労働局 労働基準部 安全課

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経歴	事故 の型	起因物	災害状況
1	1月 2:00 ～2:30	建設業	1 ～9	作業員	60代	36年	有害物 等との 接触	原動機	電気通信設備工事現場にて使用する発電機を騒音対策として、車内に設置し稼働していた。その後、休憩中に当該車内にて休憩していた被災者が意識不明で発見され、搬送先の病院で一酸化炭素中毒による死亡が確認された。
2	1月 23:30 ～24:00	清掃・と畜業	30 ～49	作業員	60代	6年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	清掃業務を行っていた労働者が、台車にゴミを乗せて外のゴミ箱に運ぼうと道路を移動中、後ろから走行してきた乗用車にひかれ、脳挫傷により死亡したものの。
3	2月 17:30 ～18:00	建設業	10 ～29	電工	20代	5年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	現場から会社へ戻る途中、車が歩道にのり上げ横転し、ガードレールに衝突して死亡した。
4	3月 11:00 ～11:30	建設業	1 ～9	管理者	30代	10年	その他	起因物 なし	被災者は営業と設計・施工管理を行う中で、長時間の労働に従事していた。平成27年3月5日午前8時半頃、駐車場の車中で倒れているのが発見された。救急搬送されたが、午前11時2分心筋梗塞により死亡した。
5	3月 10:30 ～11:00	航空業	30 ～49	運転者	50代	17年	交通事 故(そ の他)	その他 の乗物	配電撤去工事において、ヘリコプターにて撤去資材を運送する業務を行っていたところ、作業開始から発電所と荷卸し場を3往復した後、給油のためにヘリポートに向かう途中、高さ約300メートルの位置にあった送電線に接触して墜落、乗員2名が死亡したものの。
6	3月 15:00 ～15:30	運送業	30 ～49	運転者	60代	30年	交通事 故(道 路)	トラック	名阪国道でトラックを運転中、下りの左カーブで霧も出ていたため、運転ミスによりガードレールにぶつかり、横転事故を起こし、全身打撲により死亡した。
7	3月 16:00 ～16:30	建設業	10 ～29	運転者	60代	20年	はさま れ・巻 き込ま れ	トラック	建設業を行っている事業場の土取り場の前方が下がった場所で、ダンプカーに積んだ土砂を下し、50cmほど前進させダンプカーの前面で用を足していたところ、動き出したダンプカーにひかれたもの。
8	4月 7:00 ～7:30	運送業 (港湾)	100 ～299	事務員	30代	5年	その他	起因物 なし	精神疾患と診断された休業中の労働者が死亡した。
9	4月 6:00 ～6:30	運送業	50 ～99	運転者	50代	37年	交通事 故(そ の他)	トラック	被災者は、東名高速道路を運転中、東名高速道路秦野中井インターチェンジ出口付近において、トラックが横転し、死亡した。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経験	事故 の型	起因物	災害状況
10	4月 16:30 ～17:00	清掃・と畜	1 ～9	作業員	60代	9カ 月	激突さ れ	解体用 機械	山積みされた廃棄物の中で廃棄物の分別作業中、同廃棄物の上で廃棄物のかき集め作業をしていた車両系建設機械のアームに激突された。
11	5月 9:00 ～9:30	建設業	1 ～9	作業員	60代	3年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	木造家屋建屋解体現場において、労働者2名が建屋の屋根（高さ2.99メートル）に上がり、屋根の瓦を外す作業をしていたところ、被災者が墜落し、死亡した。
12	5月 9:00 ～9:30	建設業	10 ～29	作業員	20代	7年	はさま れ・巻 き込ま れ	トラック	工作機械を設置するため当該機械をトレーラーの荷台に載せ工場に搬入していた。当該機械の置き場所を調整するため1度工場内に入れたトレーラーを外に出そうとしたとき、当該機械の上にいる被災者が工場の入り口上部と当該機械に挟まれた。
13	5月 10:30 ～11:00	製造業	10 ～29	作業員	30代	6カ 月	はさま れ・巻 き込ま れ	その他 の溶接 装置	工場において、被災者が鉄筋自動溶接機にて作業を行っていたところ、鉄筋自動溶接機附属の門型の支柱と引張装置に頭部をはさまれ、頭蓋骨骨折により死亡したものの。
14	5月 16:30 ～17:00	建設業	10 ～29	作業員	40代	20年	墜落・ 転落	建築物、 構築物	携帯電話基地局の15mコンクリート柱を立て、補修作業をするために高所作業車を利用していたところ、高所作業車から柱へ移る際、柱に移って何らかの作業をしていた際に、高さ8m付近から地面へ墜落したものの。
15	5月 19:00 ～19:30	商業	50 ～99	作業員	50代	30年	墜落・ 転落	はしご等	被災者が屋上駐車場出入口において、脚立（高さ約3メートル）に乗って、看板（高さ約4メートル）上に鳩除けを設置していたところ、脚立から墜落した。
16	5月 8:30 ～9:00	製造業	1 ～9	作業員	40代	9年	はさま れ・巻 き込ま れ	トラック	被災者は同僚と2人でダンプトラックに取り付けられた無線アンテナを交換する作業をしていたが、同僚が運転席から外に出る際、荷台を昇降させるレバーに身体が触れ荷台が降下し、その時荷台の下で作業していた被災者が荷台とダンプトラックの車体との間に腰を挟まれたものの。
17	6月 10:30 ～11:00	その他の事業	1 ～9	作業員	20代	2カ 月	転倒	フォーク リフト	被災者は、屋外にて、最大荷重2トンのフォークリフトを用いて、ゴミの片づけ作業を行っていたところ、フォークリフトのタイヤが地面の窪みに落ちて横転しフォークリフトから投げ出され、フォークリフトと地面の間に挟まれて死亡した。
18	6月 16:30 ～17:00	製造業	30 ～49	作業員	30代	20年	崩壊・ 倒壊	金属材料	解体したクレーンの鉄屑をガス溶断していたところ、溶断していた鉄板が倒れて、災害当日に死亡したものの。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経歴	事故 の型	起因物	災害状況
19	6月 15:00 ～15:30	建設業	10 ～29	土工	60代	16年	墜落・ 転落	開口部	被災者は、災害発生当日の午前中に、現場11階にて芝生の搬入作業等を行っていたが、昼休憩時に喫煙所から出て行く姿を目撃されて以降行方不明となっていたところ、地下1階のOAシャフト内の底部コンクリート上に死亡した状態で横たわっているのを発見されたもの。
20	6月 11:00 ～11:30	運送業	1 ～9	運転者	60代	24年	交通事 故(道 路)	トラック	国道23号線上り線をLPガスボンベ配送業務のため3tトラックを運転中、道路壁面に接触した後に前方車両の10tトラックに追突し運転室大破により出血性ショックで死亡。
21	7月 15:00 ～15:30	運送業	10 ～29	運転者	20代	1年	崩壊・ 倒壊	その他 の圧力 容器	被災者は液化炭酸ガスボンベ(300kg)の交換のため、単独かつ人力で当該ボンベを移動させていたところ、当該ボンベが倒れ、その下敷きとなったもの。
22	7月 5:30 ～6:00	商業	1 ～9	配達員	60代	2年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	バイクで朝刊配達中に、信号のある十字路交差点を直進した際に、左方からの直進した乗用車と衝突し、救急搬送後に病院にて死亡が確認された。
23	7月 13:00 ～13:30	その他の事業	100 ～299	その他 の職種	50代	8年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	被災者は、会議出席のため、社有車にて移動中、道を誤り、脇見運転による追突事故を起こした。この時点では本人に怪我もなく、車両も自走可能であったため、一度事務所に帰社すべく同車両にて走行していたところ、突然エアバックが作動し、前方が見えなくなり、操作不能となり、電柱に衝突したものの。
24	7月 19:00 ～19:30	製造業	10 ～29	作業員	20代	9ヶ月	はさま れ・巻 き込ま れ	その他 の金属 加工用 機械	ショットブラスト機の上下扉に不具合が生じ、閉まらなかったため、被災者が同機の上部に上がって修理作業を行っていた。大きな音がしたため、他の労働者が見に行ったところ、上下扉は閉まり、同機上部で被災者が意識を失い、座り込んだ状態で発見された。被災者は頸椎を損傷しており、意識不明のまま入院し治療を受けていたが、平成27年8月6日に死亡した。
25	7月 15:00 ～15:30	農林業	10 ～29	作業員	50代	18年	飛来・ 落下	立木等	山林の間伐作業中、スギを伐倒した直後、当該スギに中折れしてかかっていたアカマツが落下し、伐倒したスギの脇にいた被災者の肩から背中にかけて激突し、外傷性血気胸により死亡したものの。
26	7月 14:00 ～14:30	建設業	1 ～9	防水工	40代	4年	高温・ 低温の ものと 接触	高温・低 温環境	建物屋上で防水作業を行っていた被災者が、午後2時頃に熱中症による体調不良を訴えたため、現場近くの病院に搬送しようとしたが、被災者が自宅近くの病院の治療を強く望んだため、自家用車で希望の病院へ搬送することにしたが、その途中、容態が急変し、急遽、救急車により搬送、入院による治療を行ったが、熱射病による多臓器不全により死亡した。
27	7月 17:00 ～17:30	清掃・と畜業	10 ～29	作業員	30代	5ヶ月	高温・ 低温の ものと 接触	高温・低 温環境	被災者は、事業場建屋内において、通常業務である産業廃棄物の分別作業を終え、定時に退社したところ、帰宅途中に国道の歩道フェンスにもたれかかるようにして倒れている状態で発見され、救急搬送されたが翌日午前中に病院で死亡したものの。(熱中症)

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
28	8月 18:30 ~19:00	その他の事業	50 ~99	警備員	50代	10年	高温・ 低温の ものと 接触	高温・低 温環境	被災当日16:30の業務終了の点呼、解散後、車で帰宅途中であるはずの被災者が、路上で倒れているところが発見されたもの。熱中症と診断された。
29	8月 12:30 ~13:00	運送業	10 ~29	作業員	50代	8年	高温・ 低温の ものと 接触	高温・低 温環境	配達先近くの路上にて車内での待機中、同僚が納品作業中車両に部品を取りに戻ったところ道路上に倒れており、近所の方に介護を受けていたもの（本人より気分が悪いと申し出があったため、午前11時30頃（4件目の配送中）より車内で休憩させていた）。熱中症と診断される。
30	8月 9:00 ~9:30	建設業	1 ~9	運転者	50代	1ヶ月	激突さ れ	掘削用 機械	被災者はダンプの運転者で、廃材など積み込み中に運転席から降り、粉じん防止のため放水作業を行った。廃材をダンプへ積み込みを行っていたドラグショベルが旋回し、被災者はドラグショベルの後部と壁との間に胸や肩を強くはさまれた。病院へ救急搬送されたが、同日午後、死亡した。
31	8月 19:30 ~20:00	運送業	1 ~9	運転者	30代	2年	交通事 故(道 路)	トラック	大型トレーラーで走行中、右カーブにさしかかったところで当該車両が横転し運転手が運転室内に挟まれて死亡。 車両が横転した現場は、下り勾配7%が約6.5km続く長い下り坂途中の右カーブであった。
32	8月 8:30 ~9:00	商業	1 ~9	作業員	70代	10年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	本店から被災者を車で送ってきた同僚が、被災者を降ろした後、車に積んでいた商品を降ろすため店舗前の駐車場にバックで停めようとしていたところ、ブレーキとアクセルを踏み間違え、車止めに越えて進んだため、開店準備のため店舗の外にいた被災者が車と店舗の壁に挟まれ死亡した。
33	8月 15:30 ~16:00	製造業	1 ~9	作業員	50代	10年	墜落・ 転落	作業床、 歩み板	工場で製作したダクトについて、フォークリフトを使用して工場に隣接した倉庫の中2階へ運び、中2階に上がってダクトを整理していたところ、約3m下のコンクリート面へ墜落し、約2時間後に死亡したものの。
34	8月 7:30 ~8:00	建設業	1 ~9	解体工	40代	13年	はさま れ・巻 き込ま れ	トラック	建設現場で使用する砕石を砕石工場にトラックに積み込み、同僚のトラックのシート掛けを手伝っているときに、自分の乗ってきたトラックが動き出し、シート掛けをしていたトラックと動き出したトラックにはさまれたもの。
35	9月 9:00 ~9:30	建設業	1 ~9	電工	30代	2年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	太陽光発電設備設置工事の準備のため、屋根上で材料の運搬をしていたところ、被災者が明かり取り用の窓を踏み抜き、8メートル下のコンクリート地面に墜落し、死亡した。
36	9月 15:30 ~16:00	運送業	10 ~29	作業員	50代	25年	はさま れ・巻 き込ま れ	フォーク リフト	機械設備を移設作業中、機械設備の一部であるミストコレクター（重さ20kg程度）を繊維ベルトで玉掛けし、同ベルトの一端をフォークリフトのフォークに掛け、つり上げた状態で設置場所に向けて運搬していたところ、介添えのためにフォークリフトに併走していた作業員がフォークリフトの右前輪で轢かれ死亡したものの。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経験	事故 の型	起因物	災害状況
37	9月 15:30 ～16:00	製造業	300以上	技術者	40代	23年	その他	起因物 なし	平成27年9月11日、午後8時15分頃、社内トイレで倒れているのを発見され、病院に搬送された。傷病名はクモ膜下出血。 症状は回復に向かったが、平成27年9月19日に2回目のクモ膜下出血を発症したことにより病態が急変し、同日15時49分に死亡した。
38	9月 8:30 ～9:00	建設業	1 ～9	作業員	40代	18年	飛来・ 落下	基礎工 事用機 械	工場増築工事現場において、アース・オーガーを使用し杭打施工中、ドリルを穿孔させた際、埋設物に当たった影響等で、ドリル上部のモーター部を支えるスライド金物がレールから外れ、車体左方向にドリルと共に約20m落下し、杭をトラックから荷降ろし中のトラッククレーンの運転席に居たオペレーターを直撃したものの。
39	9月 13:00 ～13:30	製造業	10 ～29	その他 の職種	40代	4年	その他	起因物 なし	事業場内で気分が悪くなり横になっていたところ、頭痛を訴えたため病院に搬送されたが、4日後にくも膜下出血により死亡した。
40	9月 19:00 ～19:30	建設業	30 ～49	その他	20代	3年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	営業訪問で徒歩移動中、道路の反対にあるコンビニエンスストアに行こうと道路を横断中、道路を走行してきた普通乗用車と接触した。 当該道路は片側2車線の市道で、被災者が横断した箇所はカーブで見通しの悪いところであった。
41	9月 5:00 ～5:30	接客娯楽業	10 ～29	その他	30代	7年	分類不 能	分類不 能	業務終了後の片づけ中に、後方から頭部を複数回殴られる。
42	9月 17:00 ～17:30	建設業	10 ～29	作業員	20代	3ヶ月	転倒	整地・運 搬・積込 み用機 械	道路建設工事に付帯する周辺道路の舗装工事において、作業場所から現場詰所までの下り坂間で右曲がりカーブの箇所にホイールローダが転倒し、当該ホイールローダのヘッドガードと地面の間に運転していた被災者の頭部が挟まれた状態で発見され、病院に運ばれたが約1時間後に死亡したものの。
43	10月 9:00 ～9:30	建設業	1 ～9	管理者	40代	18年	その他	起因物 なし	被災者は工事現場の作業所長として、施工管理等の業務に従事していたが、平成27年9月30日午後1時頃に激しい頭痛を訴え、翌10月1日午後6時45分頃に赴任先居住地において死亡していることが発見された。
44	10月 3:00 ～3:30	商業	100 ～299	作業員	50代	9年	激突	建築物、 構築物	被災者は、構内運搬車にて走行中、段差箇所に気付かず、構内運搬車左前側ガードが当該段差箇所に衝突し、構内運搬車運転位置の左側から投げ飛ばされ、前頭部を地面に打ち付け被災した。(平成27年12月24日午前死亡)
45	10月 14:00 ～14:30	運送業	30 ～49	運転者	50代	20年	激突さ れ	機械装 置	つり上げ荷重200トンのクローラークレーン(タワー仕様)の解体作業において、解体したジブの接続部である『タワーキャップ(重量:約1.7トン)』をトラックの荷台上に積み込んだ状態でラッシング作業中、タワーキャップが転がり、転がったタワーキャップとあたりとの間に挟まれ、搬送先の病院にて死亡した。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
46	11月 22:00 ~22:30	運送業	100 ~299	運転者	40代	8年	交通事 故(道 路)	トラック	西名阪自動車道を大阪方面に向かい走行中、低速車を追い越し、走行車線に戻ったところ、路肩から走行車線にはみ出して停車していた故障車の右後方に追突し、ハンドルと車の間に挟まれた。
47	12月 13:30 ~14:00	建設業	1 ~9	とび工	50代	18年	飛来・ 落下	人カク レーン等	マンションの修繕現場において単管本足場の解体中、上部から滑車により足場板をおろしていたところ足場板が落下し、地上で作業していた被災者に激突したものの。
48	12月 12:00 ~12:30	建設業	1 ~9	作業員	30代	3年	有害物 等との 接触	有害物	既設めっきライン補修のための塗装工事にて、被災者が、薬液槽の上に単管足場を架設する作業中、当該単管足場の作業床先端から、硫酸及びクロム酸等を保有する薬液槽へと墜落し、薬液に身体を浸して全身の65%に3度の化学熱傷を負った。翌日、搬送先の病院にてクロム中毒による多臓器不全にて死亡した。